

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月27日更新

事務事業名		養生園施設整備負担金事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	澤田勝矢	
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	坂井晴代	
	施策の柱	44	病気の早期発見			所属班	健康推進班	(内線)	2135	
予算科目	会計一般	款4	項1	目1	事業連番11200	根拠法令	菊池養生園保健組合規約		成果優先度評価結果	: ⑫
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	公立菊池養生園診療所及び保健センターの施設建設や医療機器購入にかかった費用の、公債費償還のための負担金を支払う事業。
【業務の流れ】	平等割25%・人口割75%で算出された負担金を支払う。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
負担金の支払い事務 負担金: 17,566,000円	負担金の支払い事務	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 円	予算の主な増減の理由
→ア: 負担金 イ:		負担金は、年度の償還金を、合志市・菊池市が平等割25%、人口割75%の計算により決定される。合志市が人口が増加しているため負担金額が増となった。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	公立菊池養生園や菊池広域保健センター等の施設及び施設内の医療機器	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ア: 受診者数 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市民が受診しやすい施設になる。最新医療機器により、診断の迅速化や信頼性が高くなる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 円
		→ア: 決算額 イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
施設投資の償還に対する負担金であるため投資したことが、市民に還元され、受診者が増えたり、疾病の早期発見ができるようになる。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア	円	17,566,000	17,566,000	17,566,000	17,566,000	17,789,000	17,789,000	17,789,000	17,789,000	
	イ										
② 対象指標	ア	人	2,562	2,765	3,000	2,769	3,000	3,000	3,000	3,000	
	イ										
③ 成果指標	ア	円	17,566,000	17,566,000	17,566,000	17,566,000	17,789,000	17,789,000	17,789,000	17,789,000	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	総計	一般財源	千円	17,566	17,566	17,566	17,566	17,789	17,789	17,789	17,789
		(A) 事業費計	千円	17,566	17,566	17,566	17,566	17,789	17,789	17,789	17,789
		(A)のうち指定経費	千円	17,566	17,566	17,566	17,566	17,789	17,789	17,789	17,789
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	1	1	1	1	1	1	1	1
人件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	10	20	10	20	20	20	20	20	
	(B)人件費計	千円	39	79	39	74	79	79	79	79	
トータルコスト(A)+(B)		千円	17,605	17,645	17,605	17,640	17,868	17,868	17,868	17,868	

事務事業名	養生園施設整備負担金事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 医療機器の買い替え等により養生園の診療・健診の精度が上がり、利用状況の効果は見込める。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 養生園に対する負担金であるため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 2市の負担金であるため、他に類似した事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 合志市民を対象としているため、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 組合立の保健センターのため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

養生園の診療及び健診の精度を保つため、機器の更新を必要とするものである。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						